



5月は、人について考える！

芽吹き、花が咲き、葉が大きく広がり爽やかな風が吹く

5月は、「憲法月間」です。昭和22年5月3日に日本国憲法が施行されてから、5月3日は憲法記念日となりました。小学校の社会科で学習したと思いますが（中学では3年生で勉強します）、日本国憲法は、「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」を3つの柱にしています。その「基本的人権」について少しお話しします。基本的人権について、手元にある辞書で調べてみると、次のように書いてありました。

【基本的人権】人間が生まれながらにして有している基本の権利。たとえば、思想・良心・信教の自由、集会・結社および言論・出版の自由など。

学校生活の中にも基本的人権＝つまりすべての生徒のみなさんが有している基本の権利＝にかかわることがたくさんあります。性別や国籍などによって差別されないこと。だれもが平等に授業を受けられること。自分の考えを自由に言うことができること。そしてだれもが安心して学校生活を送れること。これらの権利は絶対に大切にされなくてはなりません。また、自分の権利が大切にされるのと同様に、周りの人の権利も大切にしなければなりません。権利は自然に守られるものではありません。互いに意識して守っていくものです。

「校是 自立と貢献」の貢献：「実社会や実生活において、何か（誰か）のために、新たな価値をつくり出すことができる力」を身に付けることは、積極的に基本的人権を守ることに繋がります。昨年度までは、「社会の多様な人たちの考えに触れ、それを尊重して受け入れる力」とし、「受け入れる力＝自己受容」でしたが、今年度からは、「つくり出すことができる力＝自己実現（自分の可能性を最大限に引き出し、目標を達成していくこと。自己受容と自己肯定が、自己実現の基盤を築きます。）」と進めて参ります。

そして6月は、「道徳月間」です。下記が本校の道徳教育の重点目標です。

【道徳】教科、領域と道徳とのつながりを意識し、教科等での学びと道徳での学びをつなげます。

- ① 自立心や自律性を高め、規律ある生活を送ろうとする態度を養う。A-(1) 自主自律
- ② 規範意識を高め、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。C-(12) 社会参画、公共の精神
- ③ 生命を尊重する心や自分の弱さを克服して気高く生きようとする心を育む。D-(22) よりよく生きる喜び

道徳も「校是 自立と貢献」が目標になっています。特に「自立」：自分の力で考え、理解、判断し、行動すること、と「貢献」は、道徳的な諸価値を身に付けるために大切な力です。

私たちは、普段の学校生活の忙しさから、「毎日が忙しくて、イライラして友だちにきつく言ってしまった。」や「友だちとしゃべっているのに、相手の事を聴かずに自分のことばかり話していた。」など、思い返してみると、『人』に対する思いやりを忘れてしまっている』ことが多くあります。身近なところから自分で自分を振り返り、もっと『人』にやさしくしたい』と少しだけ意識して「丁寧」な生活ができればいいですね。5・6月は、「憲法月間」や「道徳月間」ですので、私自身もこの機会に「人について考える」時間をもちたいと思っています。

最後に、3年生は、6月4・5・6日に沖縄方面に修学旅行に行きます。多くの一般住民が戦闘に巻き込まれ、貴い命が失われた場所で、「平和と人権」について考えたいと思います。1年生はNKGエンジョイフイスティバル、2年生は校外学習があります。これらの学習を通して、憲法月間や道徳月間が意味するところを、しっかりと学びたいと思います。

保護者の皆様へ

5月24日（土）は、休日参観にご来校いただき、そして、進路説明会や教育課程説明会、チャレンジ体験説明会等にご参加いただきありがとうございました。

小雨の降るお天気でありましたが、多くの保護者やお家の方に子どもたちの学校での姿を見ていただき、大変感謝をしております。今後も、皆様の熱い期待に応えられるように、教職員一丸となり、何事にも一生懸命に取り組み、自分に自信をもち、人にやさしくできる、そんな、「自慢できる生徒」を育てるために、教育実践を進めてまいります。今後も、中学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



PTA 活動のご紹介

休日参観の日に、PTA 主催の、「通学服と体操服のリユース」が行われました。毎年 PTA が卒業生や在校生に不要になった服の寄贈をお願いし、整理して取り組まれておられます。多くの保護者様に利用していただき、今年度も大好評でした。主催していただいた PTA 本部役員や運営委員の皆様、ありがとうございました。



第1回定期考査について考える！

6月18日（水）から3日間、1回目の定期考査があります。1年生にとってははじめての定期考査です。小学校のときのテストとはずいぶん様子が異なります。どんなふうに取り組んだらいいのか…不安に思っているかもしれませんが、普段の授業のときにそれぞれ教科担任の先生が「こんなふうに取り組んでおきましょう！」という話をされているはずです。まずはその通りにやってみてください。そして、回を重ねるごとに「自分なりのテスト対策法」を見つけられればいいと思います。

第1ステップ「考えた・相談できた」

この力は、普段の授業の時から働かせなければなりません。授業の内容をしっかりと理解するためには、学んだことをしっかりと考えなければなりません。そして、考えても分からないことは、先生に相談をしましょう。「●●をここまで考えたのですが、この後が分かりませんか？」や「●●と■■を組み合わせると★★の考えになるのですが、アドバイスをお願いします」など、大切なことは、自分で「考えた」ことをしっかりと相手に伝え説明する「相談する」ことです。自分の「考え」を尊重してもらえることは、何よりうれしいことです！

第2ステップ「わかる」

教科書とノートを見直ししながら、大切な事柄をしっかりと頭に入れましょう。大切な単語や語句も、しっかりと暗記しましょう。どこが大切なところかわからない…なんてことにならないよう、普段の授業のときに、大切な事柄は色ペンで書くなどの工夫が必要です。また、わからないところは先生に質問しよう。

第3ステップ「できる」

第2ステップ「わかる」は、第1ステップの「考えた・相談できた」があるから「わかる」に進めます。そして、「できる（解ける）」ようになりましょう。「わかったつもり」では問題は解けません。問題練習を何度も繰り返すことが必要です。「わかる」と「できる」は違います。「わかる」から「できる」になるには、時間と努力がいります！

それと、私が2年生や特に3年生の担任をしていた時に、よくこんな話をしました。『みんな、100点取ろうと思って勉強していますか？』定期テストでは、各教科の理解度がおおよそその点数になります。「だいたいわかっていたらいいや」では…半分。「10問中8問は理解している」は…8割。「10問中10問、全部理解しているよ」は…10割。』ようするに、「授業で学んだ内容がすべて理解できる勉強法」が大切になります。どんなことに注意をしたらいいでしょうか？

- ① 授業に「丁寧」に取り組むことが大切です。「分かりたい」の気持ちが1番大事です。授業中に理解できるようになるために、先生に分からないところを具体的な質問をしましょう。ノートの端に空欄を作り、そこに授業で気になったことなどを書き入れておくなどおススメです。
- ② そして重要なのは、家での反復練習（家庭学習）です。短時間でも構いません。授業中に理解した内容をもう一度、整理し、理解し直すことが大切です。教科書の内容とノートの記述が合っているのか、ノートの空欄に書いた気になることなどを見直す。その時に、少し難易度を上げて、AとBを比較して説明することを考えてみるなど、学んだ複数のことを関連付けるなどがポイントになります。先生に相談したくなる「内容＝深まり」がここで生まれます！

今後の勉強法に取り入れてみてください。

【令和6年度の全国学力学習状況調査結果より】・・・昨年度の3年生の結果ですが・・・

- ① 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいか」
教えてくれる・・・本校91.2%、これは全国平均（84.9%）より高い数字です。もっと先生に質問しても大丈夫ですよ！
- ② 「平日の家庭での学習時間（塾も含む）」
2時間以上・・・本校40.8%、これは全国平均（31.7%）より高い数字です。みんながんばっていますね！
1時間以上、2時間より少ない・・・本校18.3%、これは全国平均（32.6%）を下回ります。ここから全国平均と逆転をしていきます。
- ③ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」
している・・・本校39.6%、これは全国平均（27.1%）より高い数字です。どんな工夫をしているのか？友だちに聞いてみたいです！
- ④ 「普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」
4時間以上・・・本校29.0%、これは全国平均（18.2%）より高い数字です。
3時間以上、4時間より少ない・・・本校15.4%、これも全国平均（14.3%）より高い数字です。
2時間以上、3時間より少ない・・・本校25.4%、これも全国平均（23.4%）より高い数字です。
携帯電話やスマートフォンの使用時間については考える必要があります。OECD生徒の学習到達度調査（PISA2022）においても、SNS等に費やす時間が一定程度超えると、3分野（数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシー）の得点は低下する傾向が確認されています。
- ⑤ 「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思えますか」
している・・・本校36.1%、これは全国平均（27.5%）を上回っています。授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていると回答している生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。
- ⑥ 「人の役に立つ人間になりたいと思えますか」
なりたい・・・本校78.1%、これは全国平均（68.6%）を上回っています。とてもうれしいです！

※限られた時間を「丁寧」に使って、家庭学習に取り組みましょう。